

付録B データ前処理および特徴量データの作成方法

B.1 はじめに

本分析では、家庭 CO₂ 統計²⁾ の調査票情報を基に、データ変換・整形等の前処理を行った上で特徴量データの作成を行った。前処理は、以下の事項に起因する実施年度や設問によるデータの内容の差異を解消することを目的とした。

- 実施年度による調査票の相違
- 同種の設問間における回答選択肢の表記ゆれ
- 『不明』として収録されている回答

本付録では、データの前処理および特徴量データの作成の考え方とともに、作成した特徴量データの内容および調査票情報との対応を示す。

なお、本付録においては、本分析で定義する特徴量の名称やカテゴリーについてはかぎ括弧(「」)を用いて、家庭 CO₂ 統計の調査票情報における設問のタイトルや回答選択肢については二重かぎ括弧(『』)を用いて示す。

B.2 実施年度による調査票の相違への対応の考え方

B.2.1 就業の有無

「就業の有無」については、令和 3 年度調査以降において在宅勤務の有無を併せて尋ねるように変更された。本分析においては、令和 3 年度調査以降の『1: 就業者（在宅勤務あり）』『2: 就業者（在宅勤務なし）』を「1: 就業者」として扱うこととする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.1 に示す。

表 B.1 「就業の有無」に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
令和 2 年度調査 以前	令和 3 年度調査 以降	
1: 就業者	1: 就業者（在宅勤務あり）	1: 就業者
	2: 就業者（在宅勤務なし）	
2: 就業者でない	3: 就業者でない	2: 就業者でない

B.2.2 セントラル暖房のエネルギー源

「セントラル暖房のエネルギー源」については、令和 2 年度調査以降において『4: ダクト式セントラル空調』が追加された。本分析においては、令和 2 年度調査以降の『1: 電気温水ボイラ』『2: ガス温水ボイラ』『3: 灯油温水ボイラ』『4: ダクト式セントラル空調』をそれぞれ「1: 電気」「2: ガス」「3: 灯油」とし、また平成 31 年度調査以前の『4: 不明』を「5: 不明」として扱うこととする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.2 に示す。

表 B.2 「セントラル暖房のエネルギー源」に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
平成 31 年度調査 以前	令和 2 年度調査 以降	
1: 電気	1: 電気温水ボイラ	1: 電気
2: ガス	2: ガス温水ボイラ	2: ガス
3: 灯油	3: 灯油温水ボイラ	3: 灯油
–	4: ダクト式セントラル空調	4: ダクト式
4: 不明	5: 不明	5: 不明

B.2.3 使用している床暖房の種類

「使用している床暖房の種類」については、平成 30 年度調査、平成 31 年度調査および令和 4

年度調査において『5: 不明』が存在しない。上記の実施年度については「5: 不明」を追加し、データ構造を統一する。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.3 に示す。

表 B.3 「使用している床暖房の種類」に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
平成 30 年度調査、 平成 31 年度調査、 令和 4 年度調査	平成 29 年度調査、 令和 2 年度調査、 令和 3 年度調査	
1: 電気床暖房	1: 電気床暖房	1: 電気床暖房
2: ガス温水床暖房	2: ガス温水床暖房	2: ガス温水床暖房
3: 灯油温水床暖房	3: 灯油温水床暖房	3: 灯油温水床暖房
4: 床暖房を使用していない	4: 床暖房を使用していない	4: 床暖房を使用していない
–	5: 不明	5: 不明

B.2.4 場所ごとに使用している照明の種類

「場所ごとに使用している照明の種類」については、平成 31 年度調査以降において『5: 種類不明』が追加された。本分析においては、平成 31 年度調査以降の『5: 種類不明』を「4: その他」、同調査以降の『6: 該当しない』を「5: 該当しない」として扱うこととする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.4 に示す。

表 B.4 「場所ごとに使用している照明の種類」に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
平成 30 年度調査 以前	平成 31 年度調査 以降	
1: 白熱電球	1: 白熱電球	1: 白熱電球
2: 蛍光灯	2: 蛍光灯	2: 蛍光灯
3: LED	3: LED	3: LED
4: その他	4: その他	4: その他
–	5: 種類不明	
5: 該当しない	6: 該当しない	5: 該当しない

B.2.5 主照明の種類

「主照明の種類」については、令和 2 年度調査以降において『5: 種類不明』が追加された。本分析においては、令和 2 年度調査以降の『5: 種類不明』を「4: その他」、同調査以降の『6: 該当しない』を「5: 該当しない」として扱うこととする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.5 に示す。

表 B.5 「主照明の種類」に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
平成 31 年度調査 以前	令和 2 年度調査 以降	
1: 白熱電球	1: 白熱電球	1: 白熱電球
2: 蛍光灯	2: 蛍光灯	2: 蛍光灯
3: LED	3: LED	3: LED
4: その他	4: その他	4: その他
–	5: 種類不明	
5: 該当しない	6: 該当しない	5: 該当しない

B.2.6 調理コンロの種類

「調理コンロの種類」については、平成 31 年度調査以前では『2: HI クッキングヒーター』『3: 電気コンロ (IH クッキングヒーター以外)』と別れていたが、令和 2 年度調査以降においては『2: 電気コンロ (IH クッキングヒーターなど)』に集約された。本分析においては、平成 31 年度調査以前の『2: 電気コンロ (IH クッキングヒーターなど)』『3: 電気コンロ (IH クッキングヒーター以外)』を「2: 電気コンロ (IH クッキングヒーターなど)」、同調査以前の『4: その他』を「3: その他」、同調査以前の『5: コンロはない』を「4: コンロはない」として扱うこととする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.6 に示す。

表 B.6 「調理コンロの種類」に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
平成 31 年度調査 以前	令和 2 年度調査 以降	
1: ガスコンロ	1: ガスコンロ (カセットコンロを除く)	1: ガスコンロ (カセットコンロを除く)
2: HI クッキングヒーター	2: 電気コンロ (IH クッキングヒーターなど)	2: 電気コンロ (IH クッキングヒーターなど)
3: 電気コンロ (IH クッキングヒーター以外)		
4: その他	3: その他	3: その他
5: コンロはない	4: コンロはない	4: コンロはない

B.2.7 ペットのための設備・機器の使用有無

「ペットのための設備・機器の使用有無」については、令和 2 年度調査以降において『1: 犬・猫などのペットの保温ヒーター』が削除された。本分析においては、平成 31 年度調査以前の『1:

犬・猫などのペットの保温ヒーター』『6: いずれも使用していない』を「5: いずれも使用していない」として扱うこととする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.7 に示す。

表 B.7 「ペットのための設備・機器の使用有無」に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
平成 31 年度調査 以前	令和 2 年度調査 以降	
1: 犬・猫などのペットの保温ヒーター	—	5: いずれも使用していない
2: 犬・猫などのペットの電気式自動給水器	1: 犬・猫などのペットの電気式自動給水器	1: 犬・猫などのペットの電気式自動給水器
3: 水槽用保温ヒーター熱帯魚など	2: 水槽用保温ヒーター熱帯魚など	2: 水槽用保温ヒーター（熱帯魚など）
4: 水槽用ライト（熱帯魚など）	3: 水槽用ライト（熱帯魚など）	3: 水槽用ライト（熱帯魚など）
5: 水槽、池の水のろ過用ポンプ	4: 水槽、池の水のろ過用ポンプ	4: 水槽、池の水のろ過用ポンプ
6: いずれも使用していない	5: いずれも使用していない	5: いずれも使用していない

B.2.8 エアコン・テレビ・冷蔵庫の製造時期

「エアコンの製造時期」「テレビの製造時期」「冷蔵庫の製造時期」については、令和 4 年度調査において時期の区分が変更された。本分析においては、平成 31 年度調査以前の『1: 1995 年以前』『2: 1996 年～2000 年』を「1: 2000 年以前」と、同調査以前の『6: 2016 年以降』を「5: 2016 年～2020 年」して扱うこととする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.8 に示す。

表 B.8 「エアコンの製造時期」「テレビの製造時期」「冷蔵庫の製造時期」に関する
カテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
令和 3 年度調査 以前	令和 4 年度調査 以降	
1: 1995 年以前	1: 2000 年以前	1: 2000 年以前
2: 1996 年～2000 年		
3: 2001 年～2005 年	2: 2001 年～2005 年	2: 2001 年～2005 年
4: 2006 年～2010 年	3: 2006 年～2010 年	3: 2006 年～2010 年
5: 2011 年～2015 年	4: 2011 年～2015 年	4: 2011 年～2015 年
6: 2016 年以降	5: 2016 年～2020 年	5: 2016 年～2020 年
–	6: 2021 年以降	6: 2021 年以降
7: 不明	7: 不明	7: 不明

B.3 表記ゆれへの対応の考え方

B.3.1 暖房の平日使用時間

「暖房の平日使用時間」については、「冷房の平日使用時間」とカテゴリーを統一するため、本分析においては、「1: 0 時間」を追加することとする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.9 に示す。

表 B.9 「暖房の平日使用時間」に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票		本分析
暖房の平日使用時間	冷房の平日使用時間	
–	1: 0 時間	1: 0 時間
1: 2 時間未満	2: 2 時間未満	2: 2 時間未満
2: 2 時間～ 4 時間未満	3: 2 時間～ 4 時間未満	3: 2 時間～ 4 時間未満
3: 4 時間～ 8 時間未満	4: 4 時間～ 8 時間未満	4: 4 時間～ 8 時間未満
4: 8 時間～12 時間未満	5: 8 時間～12 時間未満	5: 8 時間～12 時間未満
5: 12 時間～16 時間未満	6: 12 時間～16 時間未満	6: 12 時間～16 時間未満
6: 16 時間～24 時間未満	7: 16 時間～24 時間未満	7: 16 時間～24 時間未満
7: 24 時間	8: 24 時間	8: 24 時間
8: 不明	9: 不明	9: 不明

B.3.2 省エネ行動

照明の「調光」「消灯」、給湯の「シャワーをこまめに止める」「続けて入浴」「食器洗い時の工夫」「コントローラーのオフ」、調理の「電子レンジで下ごしらえ」「火力調整」、テレビの「明るさ

調整」「主電源オフ」、冷蔵庫の「温度調整」「つめこみ過ぎ」、トイレ便座の「温水の設定温度の調整」「冬季以外暖房便座機能オフ」については、本分析においてはカテゴリーを統一することとする。

上記のデータ変換後の家庭 CO₂ 統計の調査票と本分析のカテゴリーとの対応を表 B.10 に示す。

表 B.10 省エネ行動に関するカテゴリーの対応

家庭 CO ₂ 統計の調査票			本分析
【照明】 調光	【照明】 消灯 【テレビ】 明るさ調整、 主電源オフ、 【冷蔵庫】 温度調整、 つめこみ過ぎ	【給湯】 シャワーをこまめに止める、 続けて入浴、 食器洗い時の工夫、 コントローラーのオフ、 【調理】 電子レンジで下ごしらえ、 火力調整 【トイレ便座】 温水の設定温度の調整、 冬季以外暖房便座機能オフ	
1: 実施している	1: 実施している	1: 実施している	1: 実施している
2: 実施していない	2: 実施していない	2: 実施していない	2: 実施していない
3: 調整できない	－	3: 該当しない	3: 該当しない
4: 不明	3: 不明	4: 不明	4: 不明

B.4 回答が「不明」である場合への対応

回答が『不明』として収録されている設問については、本分析では設問に関する回答は「欠損」として扱うこととする。

なお、回答が『不明』として収録されている設問には、調査票に『分からない』などの対応する回答選択肢がある設問と、対応する回答選択肢がない設問とが混在している。後者（対応する回答選択肢がないもの）については、正確なことは不明であるが、当該の設問には未回答であることを意味しているものと推測した。

B.5 特徴量の作成の考え方

B.5.1 地域

(1) 自治体名

「自治体名」は、『自治体名』の回答をそのまま採用する。

(2) 都市階級

「都市階級」は、『都市階級別』の回答をそのまま採用する。

(3) 地域の区分

「地域の区分」は、国土交通省告示第 265 号 別表第 10³⁾に基づき、「自治体名」から作成する。

(4) 暖房度日、冷房度日、給湯度日、年積算全天日射量

「暖房度日」、「冷房度日」、「給湯度日」および「年積算全天日射量」は、付録 A に示す方法により作成した気象データのうち、外気温度および全天日射量を用いて算出する。

「暖房度日」および「冷房度日」は、省エネルギー基準の地域の区分の拠り所である、HDD18-18 (HDD : Heating Degree Day) および CDD24-24 (CDD : Cooling Degree Day) とする。「給湯度日」は、慣例として給湯温度 40℃を基準とすることに倣い、WDD40-40 (WDD : Water heating Degree Day) とする。なお、HDD18-18、CDD24-24 および WDD40-40 は、ハイフンを挟んで左側の数字が想定する設定温度、右側の数字が日平均外気温度の閾値を表しており、対象とする期間において日平均外気温度が閾値以上[冷房]または以下[暖房、給湯]である日について、日平均外気温度と設定温度との差を期間積算することを意味している。また、数値に小数点以下第二位未満の端数があるときはこれを四捨五入する。

「年積算全天日射量」は、作成した気象データを年度ごとに積算して算出する。数値に小数点以下第三位未満の端数があるときはこれを四捨五入する。

B.5.2 世帯

(1) 居住人数

「居住人数」は、『居住人数』の回答をそのまま採用する。

(2) 世帯主から見た続柄

「世帯主から見た続柄」は、『世帯主から見た続柄』の回答をそのまま採用する。

(3) 世帯員の年代

「世帯員の年代」は、『世帯員年齢』の回答をそのまま採用する。

(4) 世帯類型

「世帯類型」は、「居住人数」「世帯主から見た続柄」「世帯員の年代」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「居住人数」が「0」または「欠損」の場合、「世帯類型」は「欠損」とする。
- 1～n 人目までの「世帯主から見た続柄」に「1: 世帯主」が含まれない、もしくは「欠損」が含まれる場合、「世帯類型」は「欠損」とする。
- 1～n 人目までの「世帯員の年代」に「欠損」が含まれる場合、「世帯類型」は「欠損」とする。
- 1～n 人目までの「世帯主から見た続柄」に「7: その他」が含まれる場合、「世帯類型」は「7: その他」とする。
- 世帯員が「1: 世帯主」のみから構成されており、「世帯員の年代」が「8: 65～74 歳」「9: 75 歳以上」のいずれでもない場合、「世帯類型」は「1: 単独(非高齢)」とする。
- 世帯員が「1: 世帯主」のみから構成されており、「世帯員の年代」が「8: 65～74 歳」「9: 75 歳以上」のいずれかである場合、「世帯類型」は「2: 単独(高齢)」とする。
- 世帯員が「1: 世帯主」と「2: 世帯主の配偶者」から構成されており、「1: 世帯主」および「2: 世帯主の配偶者」のうち 1 人以上の「世帯員の年代」が「8: 65～74 歳」「9: 75 歳以上」のいずれでもない場合、「世帯類型」は「3: 夫婦のみ(非高齢)」とする。
- 世帯員が「1: 世帯主」と「2: 世帯主の配偶者」から構成されており、「1: 世帯主」および「2: 世帯主の配偶者」の両方の「世帯員の年代」が「8: 65～74 歳」「9: 75 歳以上」である場合、「世帯類型」は「4: 夫婦のみ(高齢)」とする。
- 世帯員が「1: 世帯主」「2: 世帯主の配偶者」「3: 子・子の配偶者」から構成されており、「3: 子・子の配偶者」の全ての「世帯員の年代」が「1: 0～9 歳」または「2: 10～19 歳」である場合、「世帯類型」は「5: 夫婦と子(未成年)」とする。
- 世帯員が「1: 世帯主」「2: 世帯主の配偶者」「3: 子・子の配偶者」から構成されており、「3: 子・子の配偶者」のうち 1 人以上の「世帯員の年代」が「3: 20～29 歳」「4: 30～39 歳」「5: 40～49 歳」「6: 50～59 歳」「7: 60～64 歳」「8: 65～74 歳」「9: 75 歳以上」のいずれかである場合、「世帯類型」は「6: 夫婦と子(成年)」とする。
- 上記のいずれにも該当しない場合、「世帯類型」は「7: その他」とする。
- ここで、n は、「居住人数」である。

(5) 世帯収入

「世帯収入」は、『年間世帯収入別』の回答をそのまま採用する。

(6) 就業の有無

「就業の有無」は、『就業状態』の回答をそのまま採用する。

(7) 就業割合

「就業割合」は、「就業の有無」が「1: 就業者である」世帯員の数を「居住人数」で除することにより算出する。数値に小数点以下第三位未満の端数があるときはこれを四捨五入する。ただし、「居住人数」が「0」もしくは「欠損」の場合、または「就業の有無」が「3:不明」もしくは「欠損」の場合、「就業割合」は「欠損」とする

(8) 平日在宅

「平日在宅」は、『平日昼間に在宅者有無』の回答をそのまま採用する。

B.5.3 住宅建物

(1) 建て方

「建て方」は、『建て方』の回答をそのまま採用する。

(2) 建築時期

「建築時期」は、『建築時期』の回答をそのまま採用する。

(3) 所有関係

「所有関係」は、『所有関係』の回答をそのまま採用する。

(4) 延床面積

「延床面積」は、『延床面積』の回答をそのまま採用する。

(5) 居室数

「居室数」は、『居室数』の回答をそのまま採用する。

(6) 二重サッシまたは複層ガラスの有無

「二重サッシまたは複層ガラスの有無」は、『二重サッシまたは複層ガラスの窓有無』の回答をそのまま採用する。

B.5.4 暖房

(1) 暖房機器の使用有無

「暖房機器の使用有無」は、「主暖房機器」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「主暖房機器」が「欠損」の場合、「暖房機器の使用有無」は「欠損」とする。
- 「主暖房機器」が「14: 暖房機器はない」の場合、「暖房機器の使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記のいずれにも該当しない場合、「暖房機器の使用有無」は「1: あり」とする。

(2) セントラル暖房の使用有無

「セントラル暖房の使用有無」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「セントラル暖房の使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記に該当しない場合、『セントラル暖房システムを使用していますか』の回答をそのまま採用する。

(3) セントラル暖房のエネルギー源

「セントラル暖房のエネルギー源」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「セントラル暖房の使用有無」が「0: なし」の場合、「セントラル暖房のエネルギー源」は「5: 使用なし」とする。
- 上記に該当しない場合、『セントラル暖房システムのエネルギー源』の回答をそのまま採用する。

(4) 使用している床暖房の種類

「使用している床暖房の種類」は、『床暖房を利用していますか』の回答をそのまま採用する。

(5) 床暖房の使用有無

「床暖房の使用有無」は、「暖房機器の使用有無」および「使用している床暖房の種類」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「欠損」の場合、「床暖房の使用有無」は「欠損」とする。
- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「床暖房の使用有無」は「0: なし」とする。

- 「使用している床暖房の種類」が「欠損」の場合、「床暖房の使用有無」は「欠損」とする。
- 「使用している床暖房の種類」が「4: 床暖房を使用していない」の場合、「床暖房の使用有無」は「0: なし」とする
- 上記のいずれにも該当しない場合、「床暖房の使用有無」は「1: あり」とする。

(6) 電気床暖房／ガス温水床暖房／灯油温水床暖房の使用有無

「電気床暖房の使用有無」は、「床暖房の使用有無」および「使用している床暖房の種類」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「床暖房の使用有無」が「0: なし」の場合、「電気床暖房の使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記に該当しない場合、「使用している床暖房の種類」の回答をそのまま採用する。

「ガス温水床暖房の使用有無」「灯油温水床暖房の使用有無」の作成にあたっては、上記において「電気床暖房」とあるところを、それぞれ「ガス温水床暖房」「灯油温水床暖房」と読み替える。

(7) エアコン／電気ストーブ類／電気カーペット・こたつ／電気蓄熱暖房器／ガスストーブ類／灯油ストーブ類／木質系燃料ストーブ類の使用台数

「エアコンの使用台数」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「エアコンの使用台数」は「0 台」とする。
- 上記に該当しない場合、『暖房機器使用台数』の回答をそのまま採用する。

「電気ストーブ類の使用台数」「電気カーペット・こたつの使用台数」「電気蓄熱暖房器の使用台数」「ガスストーブ類の使用台数」「灯油ストーブ類の使用台数」「木質系燃料ストーブ類の使用台数」の作成にあたっては、上記において「エアコン」とあるところを、それぞれ「電気ストーブ類」「電気カーペット・こたつ」「電気蓄熱暖房器」「ガスストーブ類」「灯油ストーブ類」「木質系燃料ストーブ類」と読み替える。

(8) 太陽熱利用暖房システムの使用有無

「太陽熱利用暖房システムの使用有無」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「太陽熱利用暖房システムの使用有無の使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記に該当しない場合、『太陽熱利用暖房システムを使用していますか』の回答をそのまま採用する。

(9) 暖房の仕方

「暖房の仕方」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「暖房の仕方」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『この冬の暖房の仕方について』の回答をそのまま採用する。

(10) 主暖房機器

「主暖房機器」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「主暖房機器」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『最もよく使う暖房機器』の回答をそのまま採用する。

(11) 主暖房機器の設定温度

「主暖房機器の設定温度」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「主暖房機器の設定温度」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『設定温度』の回答をそのまま採用する。

(12) 主暖房機器の強弱設定

「主暖房機器の強弱設定」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「主暖房機器の強弱設定」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『強弱設定』の回答をそのまま採用する。

(13) 暖房の平日使用時間

「暖房の平日使用時間」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「暖房の平日使用時間」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『1-2 月平日の暖房機器使用時間』の回答をそのまま採用する。

(14) 暖房居室数

「暖房居室数」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「暖房居室数」は「0 室」とする。
- 上記に該当しない場合、『暖房居室数』の回答をそのまま採用する。

(15) ペットのための暖房

「ペットのための暖房」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「暖房機器の使用有無」が「0: なし」の場合、「ペットのための暖房」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『ペットのための暖房使用の有無』の回答をそのまま採用する。

B.5.5 冷房

(1) 冷房機器の使用有無

「冷房機器の使用有無」は、「冷房機器の使用台数」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「冷房機器の使用台数」が「欠損」の場合、「冷房機器の使用有無」は「欠損」とする。
- 「冷房機器の使用台数」が「0 台」の場合、「冷房機器の使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、「冷房機器の使用有無」は「1: あり」とする。

(2) 冷房機器の使用台数

「冷房機器の使用台数」は、『エアコン使用台数』の回答をそのまま採用する。

(3) エアコンの種類／製造時期

「n 台目のエアコンの種類」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「冷房機器の使用有無」が「欠損」の場合、「n 台目のエアコンの種類」は「欠損」とする。
- n が「冷房機器の使用台数」を超える場合、「n 台目のエアコンの種類」は「欠損」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、n 台目の『エアコン種類』の回答をそのまま採用する。
- ここで、n は、1～5 の整数である。

「n 台目のエアコンの製造時期」の作成にあたっては、上記において「種類」とあるところを「製造時期」と読み替える。

(4) 冷房の平日使用期間

「冷房の平日使用期間」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「冷房機器の使用有無」が「欠損」の場合、「冷房の平日使用期間」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『1 台目エアコン使用時間（夏季平日）』の回答をそのまま採用する。

(5) 冷房の設定温度

「冷房の設定温度」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「冷房機器の使用有無」が「欠損」の場合、「冷房の設定温度」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『1 台目エアコン設定温度（冷房時）』の回答をそのまま採用する。

(6) ペットのための冷房使用

「ペットのための冷房使用」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「冷房機器の使用有無」が「欠損」の場合、「ペットのための冷房使用」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『ペットのためのエアコン（冷房）使用』の回答をそのまま採用する。

B.5.6 照明

(1) 場所ごとに使用している照明の種類

「場所ごとに使用している照明の種類」は、『場所ごとに使用している照明の種類』の回答をそのまま採用する。

(2) 各場所のランプの使用有無

「居間のランプの使用有無」は、「場所ごとに使用している照明の種類」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「場所ごとに使用している照明の種類」において居間に関する回答が「欠損」の場合、「居間のランプの使用有無」は「欠損」とする。
- 「場所ごとに使用している照明の種類」において居間に関する回答に「5: 該当しない」が含まれる場合、「居間のランプの使用有無」は「0: なし」とする。
- 「場所ごとに使用している照明の種類」において居間に関する回答が上記のいずれにも該当しない場合、「居間のランプの使用有無」は「1: あり」とする。

「食卓のランプの使用有無」「台所のランプの使用有無」「個室のランプの使用有無」「その他の場所のランプの使用有無」の作成にあたっては、上記において「居間」とあるところを、それぞれ

れ「食卓」「台所」「個室」「その他の場所」と読み替える。

(3) 各場所の白熱電球／蛍光灯／LED／その他のランプの使用有無

「居間の白熱電球の使用有無」は、「場所ごとに使用している照明の種類」および「居間のランプの使用有無」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「居間のランプの使用有無」が「欠損」の場合、「居間の白熱電球の使用有無」は「欠損」とする。
- 「居間のランプの使用有無」が「0： なし」の場合、「居間の白熱電球の使用有無」は「0： なし」とする。
- 「場所ごとに使用している照明の種類」において居間に関する回答に「1： 白熱電球」が含まれない場合、「居間の白熱電球の使用有無」は「0： なし」とする。
- 上記のいずれにも該当しない場合、「居間の白熱電球の使用有無」は「1： あり」とする。

「居間の蛍光灯の使用有無」「居間の LED の使用有無」「居間のその他のランプの使用有無」の作成にあたっては、「白熱電球」および「1： 白熱電球」とあるところを、それぞれ「蛍光灯」および「2： 蛍光灯」、「LED」および「3： LED」、「その他のランプ」および「4： その他のランプ」と読み替える。

「食卓の蛍光灯の使用有無」「食卓の LED の使用有無」「食卓のその他のランプの使用有無」の作成にあたっては、上記において「居間」とあるところを、「食卓」と読み替える。

「台所の蛍光灯の使用有無」「台所の LED の使用有無」「台所のその他のランプの使用有無」の作成にあたっては、上記において「居間」とあるところを、「台所」と読み替える。

「個室の蛍光灯の使用有無」「個室の LED の使用有無」「個室のその他のランプの使用有無」の作成にあたっては、上記において「居間」とあるところを、「個室」と読み替える。

「その他の場所の蛍光灯の使用有無」「その他の場所の LED の使用有無」「その他の場所のその他のランプの使用有無」の作成にあたっては、上記において「居間」とあるところを、「その他の場所」と読み替える。

(4) 主照明の種類

「主照明の種類」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「居間のランプの使用有無」が「欠損」の場合、「主照明の種類」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『居間で最も使用時間の長い照明』の回答をそのまま採用する。

(5) 居間照明の使用時間

「居間照明の使用時間」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「居間のランプの使用有無」が「欠損」の場合、「居間照明の使用時間」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『居間の照明使用時間（平日）』の回答をそのまま採用する。

(6) 調光／消灯

「調光」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「居間のランプの使用有無」「食卓のランプの使用有無」「台所のランプの使用有無」「個室のランプの使用有無」「その他の場所のランプの使用有無」の全てが「0: なし」の場合、「調光」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『照明に関わる省エネ行動の実施状況（状況に応じて照明の明るさを調整している（減灯や自動調光機能の利用を含む））』の回答をそのまま採用する。

「消灯」の作成にあたっては、上記において「調光」とあるところを「消灯」と、『照明に関わる省エネ行動の実施状況（状況に応じて照明の明るさを調整している（減灯や自動調光機能の利用を含む））』とあるところを『照明に関わる省エネ行動の実施状況（短時間でも場所を離れるときは消灯を心がけている）』と読み替える。

B.5.7 給湯

(1) 使用している給湯器・給湯システムの種類

「使用している給湯器・給湯システムの種類」は、『使用している給湯器・給湯システム』の回答をそのまま採用する。

(2) 給湯機の使用有無

「給湯機の使用有無」は、「使用している給湯器・給湯システムの種類」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「使用している給湯器・給湯システムの種類」に「11: 不明」が含まれる場合、「給湯機の使用有無」は、「欠損」とする。
- 「使用している給湯器・給湯システムの種類」に「10: 給湯器・給湯システムはない」が含まれる、「給湯機の使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記のいずれにも該当しない場合、「給湯機の使用有無」は「1: あり」とする。

(3) 電気ヒートポンプ式給湯機／電気温水器／ガス給湯機・ガス風呂がま／ガス小型瞬間湯沸器の使用有無／灯油給湯機・灯油風呂がま／太陽熱利用給湯機／ガスエンジン発電・給湯機／家庭用燃料電池／その他給湯機の使用有無

「電気ヒートポンプ式給湯機の使用有無」は、「給湯機の使用有無」および「使用している給湯器・給湯システムの種類」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「給湯機の使用有無」が「欠損」の場合、「電気ヒートポンプ式給湯機の使用有無」は「欠損」とする。
- 「給湯機の使用有無」が「0：なし」の場合、「電気ヒートポンプ式給湯機の使用有無」は「0：なし」とする。
- 「使用している給湯器・給湯システムの種類」において回答に「1：電気ヒートポンプ式給湯器(エコキュート、ネオキュート)」が含まれない場合、「電気ヒートポンプ式給湯機の使用有無」は「0：なし」とする。
- 上記のいずれにも該当しない場合、「電気ヒートポンプ式給湯機の使用有無」は「1：あり」とする。

「電気温水器の使用有無」「ガス給湯機・ガス風呂がまの使用有無」「ガス小型瞬間湯沸器の使用有無」「灯油給湯機・灯油風呂がまの使用有無」「太陽熱利用給湯機の使用有無」「ガスエンジン発電・給湯機の使用有無」「家庭用燃料電池の使用有無」「その他給湯機の使用有無」の作成にあたっては、「電気ヒートポンプ式給湯機」および「1：電気ヒートポンプ式給湯器(エコキュート、ネオキュート)」とあるところを、それぞれ「電気温水器」および「2：電気温水器」、「ガス給湯機・ガス風呂がま」および「3：ガス給湯器(エコジョーズを含む)、ガス風呂がま」、「ガス小型瞬間湯沸器」および「4：ガス小型瞬間湯沸器(台所専用のもの)」、「灯油給湯機・灯油風呂がま」および「5：灯油給湯器(エコフィールを含む)、灯油風呂がま」、「太陽熱利用給湯機」および「6：太陽熱を利用した給湯器」、「ガスエンジン発電・給湯機」および「7：ガスエンジン発電・給湯器(エコウィル)」、「家庭用燃料電池」および「8：家庭用燃料電池(エネファーム)」、「その他給湯機」および「9：その他」と読み替える。

(4) 浴槽に湯をはる日数（夏季／冬季）／浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数（夏季／冬季）／浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数（夏季／冬季）

「浴槽に湯をはる日数（夏季）」「浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数（夏季）」「浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数（夏季）」「浴槽に湯をはる日数（冬季）」「浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数（冬季）」「浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数（冬季）」は、『1週間の平均的な入浴状況』の回答をそのまま採用する。

(5) 夏季湯はり割合／夏季シャワー割合／夏季入浴なし割合／
冬季湯はり割合／冬季シャワー割合／冬季入浴なし割合

「夏季湯はり割合」「夏季シャワー割合」「夏季入浴なし割合」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「給湯機の使用有無」が「0: なし」の場合、「夏季湯はり割合」「夏季シャワー割合」「夏季入浴なし割合」は「欠損」とする。
- 「夏季湯はり割合」「夏季シャワー割合」「夏季入浴なし割合」は、それぞれ「浴槽に湯をはる日数（夏季）」「浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数（夏季）」「浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数（夏季）」を7日/週で除することにより算出する。数値に小数点以下第三位未満の端数があるときはこれを四捨五入する。

「冬季湯はり割合」「冬季シャワー割合」「冬季入浴なし割合」の作成にあたっては、上記において「夏季」とあるところを「冬季」と読み替える。

(6) シャワーをこまめに止める／続けて入浴／食器洗い時の工夫／コントローラーのオフ

「シャワーをこまめに止める」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「給湯機の使用有無」が「0: なし」の場合、「シャワーをこまめに止める」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『入浴やお湯の使用に関わる省エネ行動の実施状況』の回答をそのまま採用する。

「続けて入浴」「食器洗い時の工夫」「コントローラーのオフ」の作成にあたっては、上記において「シャワーをこまめに止める」とあるところを、それぞれ「食器洗い時の工夫」「コントローラーのオフ」と読み替える。

(7) 洗面所のお湯の使用頻度／台所のお湯の使用頻度

「洗面所のお湯の使用頻度」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「給湯機の使用有無」が「0: なし」の場合、「洗面所のお湯の使用頻度」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『今冬の洗面所のお湯の使い方』の回答をそのまま採用する。

「台所のお湯の使用頻度」の作成にあたっては、上記において「洗面所」とあるところを「台所」と読み替える。

B.5.8 調理

(1) 使用している調理コンロの種類

「使用している調理コンロの種類」は、『台所で使用しているコンロの種類』の回答をそのまま

採用する。

(2) 調理コンロの使用有無

「調理コンロの使用有無」は、「使用している調理コンロの種類」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「調理コンロの種類」に「5: 不明」が含まれる場合、「調理コンロの使用有無」は、「欠損」とする。
- 「調理コンロの種類」に「4: コンロはない」が含まれる場合、「調理コンロの使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記のいずれにも該当しない場合、「調理コンロの使用有無」は「1: あり」とする。

(3) ガスコンロ／電気コンロ／その他のコンロの使用有無

「ガスコンロの使用有無」は、「調理コンロの使用有無」および「使用している調理コンロの種類」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「調理コンロの使用有無」が「欠損」の場合、「ガスコンロの使用有無」は「欠損」とする。
- 「調理コンロの使用有無」が「0: なし」の場合、「ガスコンロの使用有無」は「0: なし」とする。
- 「使用している調理コンロの種類」が「1: ガスコンロ(カセットコンロを除く)」を含まない場合、「ガスコンロの使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記のいずれにも該当しない場合、「ガスコンロの使用有無」は「1: あり」とする。

「電気コンロの使用有無」「その他のコンロの使用有無」の作成にあたっては、上記において「ガスコンロ」とあるところを、それぞれ「電気コンロ」「その他のコンロ」と読み替える。

(4) 1 日当たりの調理食数（朝・平日／朝・休日／昼・平日／昼・休日／夜・平日／夜・休日）

「1 日当たりの調理食数（朝・平日）」「1 日当たりの調理食数（朝・休日）」「1 日当たりの調理食数（昼・平日）」「1 日当たりの調理食数（昼・休日）」「1 日当たりの調理食数（夜・平日）」「1 日当たりの調理食数（夜・休日）」は、『調理食数 朝』『調理食数 昼』『調理食数 夜』の回答をそのまま採用する。

(5) 1 週間当たりの調理食数

「1 週間当たりの調理食数」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「調理コンロの使用有無」が「0: なし」の場合、「1 週間当たりの調理食数」は「欠損」とする。

- 「調理コンロの使用有無」が「0： なし」の場合、「1 週間当たりの調理食数」は「欠損」とする。
- 「1 日当たりの調理食数（朝・平日）」「1 日当たりの調理食数（昼・平日）」「1 日当たりの調理食数（夜・平日）」のいずれかが「欠損」の場合、「1 週間当たりの調理食数」は、「欠損」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、「1 週間当たりの調理食数」は、「1 週間当たりの平日における調理食数」と「1 週間当たりの休日における調理食数」を合計することにより算出する。ここで、「1 週間当たりの平日における調理食数」は、「1 日当たりの調理食数（朝・平日）」「1 日当たりの調理食数（昼・平日）」「1 日当たりの調理食数（夜・平日）」の合計に、一週間当たりの平日の日数を乗じて算出する。「1 週間当たりの休日における調理食数」は、「1 日当たりの調理食数（朝・休日）」「1 日当たりの調理食数（昼・休日）」「1 日当たりの調理食数（夜・休日）」の合計に、一週間当たりの休日の日数を乗じて算出する。一週間当たりの平日の日数および一週間当たりの休日の日数は、それぞれ 5 日/週および 2 日/週とする。

(6) 電子レンジで下ごしらえ／火力調整

「電子レンジで下ごしらえ」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「調理コンロの使用有無」が「0: なし」の場合、「電子レンジで下ごしらえ」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『調理に関わる省エネ行動の実施状況』の回答をそのまま採用する。

「火力調整」の作成にあたっては、上記において「電子レンジで下ごしらえ」とあるところを「火力調整」と読み替える。

B.5.9 テレビ

(1) テレビの使用有無

「テレビの使用有無」は、「テレビの使用台数」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「テレビの使用台数」が「欠損」の場合、「テレビの使用有無」は「欠損」とする。
- 「テレビの使用台数」が「0 台」の場合、「テレビの使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、「テレビの使用有無」は「1: あり」とする。

(2) テレビの使用台数

「テレビの使用台数」は、『テレビ使用台数』の回答をそのまま採用する。

(3) テレビの種類／画面サイズ／製造時期

「n 台目のテレビの種類」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「テレビの使用有無」が「欠損」の場合、「n 台目のテレビの種類」は「欠損」とする。
- n が「テレビの使用台数」を超える場合、「n 台目のテレビの種類」は「欠損」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、n 台目の『テレビ種類』の回答をそのまま採用する。
- ここで、n は、1～3 の整数である。

「n 台目のテレビの画面サイズ」「n 台目のテレビの製造時期」の作成にあたっては、上記において「種類」とあるところをそれぞれ「画面サイズ」「製造時期」と読み替える。

(4) テレビの平日使用時間

「テレビの平日使用時間」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「テレビの使用有無」が「0: なし」の場合、テレビの平日使用時間は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『1 台目テレビ使用時間（平日）』の回答をそのまま採用する。

(5) 明るさ調整／主電源オフ

「明るさ調整」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「テレビの使用有無」が「0: なし」の場合、「明るさ調整」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『テレビに関わる省エネ行動の実施状況』の回答をそのまま採用する。

「主電源オフ」の作成にあたっては、上記において「明るさ調整」とあるところを「主電源オフ」と読み替える。

B.5.10 冷蔵庫

(1) 冷蔵庫の使用有無

「冷蔵庫の使用有無」は、「冷蔵庫の使用台数」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「冷蔵庫の使用台数」が「欠損」の場合、「冷蔵庫の使用有無」は「欠損」とする。
- 「冷蔵庫の使用台数」が「0 台」の場合、「冷蔵庫の使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、「冷蔵庫の使用有無」は「1: あり」とする。

(2) 冷蔵庫の使用台数

「冷蔵庫の使用台数」は、『冷蔵庫（冷凍庫を含む）使用台数』の回答をそのまま採用する。

(3) 冷蔵庫の種類／庫内容積／製造時期

「n 台目の冷蔵庫の種類」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「冷蔵庫の使用有無」が「欠損」の場合、「n 台目の冷蔵庫の種類」は「欠損」とする。
- n が「冷蔵庫の使用台数」を超える場合、「n 台目の冷蔵庫の種類」は「欠損」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、n 台目の『冷蔵庫種類』の回答をそのまま採用する。
- ここで、n は、1 または 2 のいずれかである。

「n 台目の冷蔵庫の庫内容積」「n 台目の冷蔵庫の製造時期」の作成にあたっては、上記において「種類」とあるところをそれぞれ「庫内容積」「製造時期」と読み替える。

(4) 温度調整／つめこみ過ぎ

「温度調整」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「冷蔵庫の使用有無」が「0: なし」の場合、「温度調整」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『冷蔵庫に関わる省エネ行動の実施状況』の回答をそのまま採用する。

「つめこみ過ぎ」の作成にあたっては、上記において「温度調整」とあるところを「つめこみ過ぎ」と読み替える。

B.5.11 家電製品等

(1) 家電製品等の使用台数

「家電製品等の使用台数」は、『家電製品等使用台数』の回答をそのまま採用する。

B.5.12 洗濯乾燥

(1) 乾燥機能の有無

「乾燥機能の有無」は、「家電製品等の使用台数」を基に、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「洗濯機（乾燥機能付）の使用台数」「衣類乾燥機(電気)の使用台数」「衣類乾燥機(ガス)の使用台数」「浴室乾燥機の使用台数」のいずれかが「欠損」の場合、「乾燥機能の有無」は「欠損」とする。

- 「洗濯機（乾燥機能付）の使用台数」「衣類乾燥機(電気)の使用台数」「衣類乾燥機(ガス)の使用台数」「浴室乾燥機の使用台数」の合計が 0 台の場合、「乾燥機能の有無」は「0: なし」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、「乾燥機能の有無」は「1: あり」とする。

(2) 洗濯機（乾燥機能なし）／洗濯機（乾燥機能付）／

衣類乾燥機（電気）／衣類乾燥機（ガス）／浴室乾燥機の使用台数

「洗濯機（乾燥機能なし）の使用台数」「洗濯機（乾燥機能付）の使用台数」「衣類乾燥機（電気）の使用台数」「衣類乾燥機（ガス）の使用台数」「浴室乾燥機の使用台数」は、「家電製品等の使用台数」の回答をそのまま採用する。

(3) 乾燥機能使用頻度

「乾燥機能使用頻度」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「乾燥機能の有無」が「0: なし」の場合、「乾燥機能使用頻度」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『乾燥機能使用頻度』の回答をそのまま採用する。

B.5.13 トイレ便座

(1) 温水洗浄便座／暖房便座（温水洗浄機能なし）の使用台数

「温水洗浄便座の使用台数」「暖房便座（温水洗浄機能なし）の使用台数」は、「家電製品等の使用台数」の回答をそのまま採用する。

(2) 温水の設定温度の調整／冬季以外暖房便座機能オフ

「温水の設定温度の調整」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「温水洗浄便座の使用台数」が「0 台」の場合、「温水の設定温度の調整」は「欠損」とする。
- 上記に該当しない場合、『家電製品に関わる省エネ行動』の回答をそのまま採用する。

「冬季以外暖房便座機能オフ」の作成にあたっては、上記において「温水の設定温度の調整」とあるところを「冬季以外暖房便座機能オフ」と読み替える。

B.5.14 ペット用品

(1) ペットのために使用している設備・機器

「ペットのために使用している設備・機器」は、『ペットのために使用している設備・機器』の回答をそのまま採用する。

(2) ペットのための設備・機器の使用有無

「ペットのための設備・機器の使用有無」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 『ペットのために使用している設備・機器』が「欠損」の場合、「ペットのための設備・機器の使用有無」は「欠損」とする。
- 『ペットのために使用している設備・機器』が「5: いずれも使用していない」の場合、「ペットのための設備・機器の使用有無」は「0: なし」とする。
- 上記いずれにも該当しない場合、「ペットのための設備・機器の使用有無」は「1: あり」とする。

B.5.15 太陽光発電

(1) 太陽光発電の使用有無

「太陽光発電の使用有無」は、『太陽光発電の使用有無』の回答をそのまま採用する。

(2) 太陽光発電の容量

「太陽光発電の容量」は、以下の考え方（優先度が高い順に記載）により作成する。

- 「太陽光発電の使用有無」が「0: なし」の場合、「太陽光発電の容量」は「0.0 kW」とする。
- 上記に該当しない場合、『太陽光容量 (kW)』の回答をそのまま採用する。

B.5.16 省エネ意識

(1) 省エネ行動の実施割合

「省エネ行動の実施割合」は、省エネ行動の項目数により実施している省エネ行動の数を除することにより算出する。数値に小数点以下第三位未満の端数があるときはこれを四捨五入する。

省エネ行動は、次に示す 14 種類とする。

- 照明 : 「調光」、「照明」
- 給湯 : 「シャワーをこまめに止める」「続けて入浴」「食器洗い時の工夫」
「コントローラーのオフ」
- 調理 : 「電子レンジで下ごしらえ」「火力調整」
- テレビ : 「明るさ調整」「主電源オフ」
- 冷蔵庫 : 「温度調整」「つめこみ過ぎ」
- トイレ便座 : 「温水の設定温度の調整」「冬季以外暖房便座機能オフ」

B.5.17 エネルギー

(1) 1 か月当たりの電気の購入量／太陽光発電量／太陽光発電量のうちの売電分／ 都市ガスの購入量／LP ガスの購入量／灯油消の購入量

「1 か月当たりの電気の購入量」は、『電気使用量 (kWh)』の回答をそのまま採用する。

「1 か月当たりの太陽光発電量」は、『太陽光発電量 (kWh)』の回答をそのまま採用する。

「1 か月当たりの太陽光発電量のうちの売電分」は、『太陽光売電量 (kWh)』の回答をそのまま採用する。

「1 か月当たりの都市ガスの購入量」は、『都市ガス使用量 (m3)』の回答をそのまま採用する。

「1 か月当たりの LP ガスの購入量」は、『LP ガス使用量 (m3)』の回答をそのまま採用する。

「1 か月当たりの灯油消の購入量」は、『灯油使用量 (リットル)』の回答をそのまま採用する。

(2) 年間一次エネルギー消費量

「年間一次エネルギー消費量」は、付録 C に示す方法により算出する。

(3) 暖房比率／冷房比率／給湯比率／調理比率／照明他比率

「暖房比率」は、1 年当たりの暖房の一次エネルギー消費量を 1 年当たりの全体の一次エネルギー消費量で除することにより算出する。算出値に小数点以下二位未満の端数がある場合は、これを四捨五入する。

「冷房比率」「給湯比率」「調理比率」の作成にあたっては、上記において「暖房」とあるところをそれぞれ「冷房」「給湯」「調理」と読み替える。

「照明他比率」は、「暖房比率」「冷房比率」「給湯比率」「調理比率」の合計を 1.0 から差し引くことにより算出する。

1 年当たりの各用途の一次エネルギー消費量は、付録 D に示す方法により算出し、csv 出力した値を用いる。また、1 年当たりの全体の一次エネルギー消費量は、1 年当たりの各用途の一次エネルギー消費量を合計することにより算出する。

B.6 特徴量データの内容および調査票情報との対応

上記の考え方に基づいて作成した特徴量データの内容、および調査票情報との対応は表 B.11 に示す通りである。なお、セルに色を付けた特徴量については、他の特徴量の作成やデータの集計・統計分析に用い、機械学習では学習させるパラメータとして使用していない特徴量である。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その1

(a)「地域」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
自治体名	地域	自治体名	カテゴリー (名義)	-	CITY	CITY	CITY	CITY	CITY	CITY	-
都市階級	地域	都市階級	カテゴリー (順序)	1: 都市階級 1 (大都市) 2: 都市階級 2 (中都市) 3: 都市階級 3 (小都市)	CITY_ CLASS	CITY_ CLASS	CITY_ CLASS	CITY_ CLASS	CITY_ CLASS	CITY_ CLASS	-
地域の区分	地域	気候	カテゴリー (順序)	1: 1 地域 2: 2 地域 3: 3 地域 4: 4 地域 5: 5 地域 6: 6 地域 7: 7 地域 8: 8 地域	-	-	-	-	-	-	国土交通省告示第 265 号 別表第 10 ³⁾ に基づき、「自治体名」から作成。
暖房度日	地域	気候	数値 (float 型)	単位: [度日]	-	-	-	-	-	-	HDD18-18。 気象データから作成。
冷房度日	地域	気候	数値 (float 型)	単位: [度日]	-	-	-	-	-	-	CDD24-24 気象データから作成。
給湯度日	地域	気候	数値 (float 型)	単位: [度日]	-	-	-	-	-	-	WDD40-40。 気象データから作成。
年積算 全天日射量	地域	気候	数値 (float 型)	単位: [MJ/m ²]	-	-	-	-	-	-	気象データから作成。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その2

(b)「世帯」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
居住人数	世帯	世帯構成	数値 (int 型)	単位：[人]	H_F1	H_F1	H_F1	H_F1	H_F1	H_F1	－
世帯主から 見た続柄	世帯	世帯構成	カテゴリー (名義)	1: 世帯主 2: 世帯主の配偶者 3: 子・子の配偶者 4: 親 5: 祖父母 6: 孫 7: その他	H_F2_*	H_F2_*	H_F2_*	H_F2_*	H_F2_*	H_F2_*	* = 1:1 人目、 2: 2 人目、 3:3 人目、 4: 4 人目、 5:5 人目、 6: 6 人目、 7:7 人目、 8: 8 人目、 9:9 人目、 10:10 人目
世帯員の年代	世帯	世帯構成	カテゴリー (順序)	1: 0～9 歳 2: 10～19 歳 3: 20～29 歳 4: 30～39 歳 5: 40～49 歳 6: 50～59 歳 7: 60～64 歳 8: 65～74 歳 9: 75 歳以上	H_F2_A_*	H_F2_A_*	H_F2_A_*	H_F2_A_*	H_F2_A_*	H_F2_A_*	* = 1:1 人目、 2: 2 人目、 3:3 人目、 4: 4 人目、 5:5 人目、 6: 6 人目、 7:7 人目、 8: 8 人目、 9:9 人目、 10:10 人目
世帯類型	世帯	世帯構成	カテゴリー (名義)	1: 単独(非高齢) 2: 単独(高齢) 3: 夫婦のみ(非高齢) 4: 夫婦のみ(高齢) 5: 夫婦と子(未成年) 6: 夫婦と子(成年) 7: その他	－	－	－	－	－	－	「居住人数」「世帯主から 見た続柄」「世帯員の年代」 から作成。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その2

(b)「世帯」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
世帯収入	世帯	経済状況	カテゴリー (順序)	1: 250 万円未満 2: 250～500 万円未満 3: 500～750 万円未満 4: 750～1000 万円未満 5: 1000～1500 万円未満 6: 1500～2000 万円未満 7: 2000 万円以上	QW13	QW13	QW13	QW14	QW14	QW14	－
就業の有無	世帯	経済状況	カテゴリー (二値)	1: 就業者 2: 就業者でない	H_F2_B_*	H_F2_B_*	H_F2_B_*	H_F2_B_*	H_F2_B_*	H_F2_B_*	* = 1:1 人目、 2: 2 人目、 3:3 人目、 4: 4 人目、 5:5 人目、 6: 6 人目、 7:7 人目、 8: 8 人目、 9:9 人目、 10:10 人目
就業割合	世帯	経済状況	数値 (float 型)	単位: [-]	－	－	－	－	－	－	「居住人数」「就業状態」から算出。
平日在宅	世帯	住まい方	カテゴリー (順序)	1: ほぼ毎日いる 2: 週 3～4 日いる 3: 週 1～2 日いる 4: ほとんどいない	H_F3	H1_6	H_F3	H_F3	H_F4	H_F4	－

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その3

(c)「住宅建物」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
建て方	住宅建物	建て方	カテゴリー (名義)	1: 戸建 2: 集合	H_F4	H_F4	H_F4	H_F4	H_F5	H_F5	－
建築時期	住宅建物	建築時期	カテゴリー (順序)	1: 1970 年以前 2: 1971～1980 年 3: 1981～1990 年 4: 1991～1995 年 5: 1996～2000 年 6: 2001～2005 年 7: 2006～2010 年 8: 2011～2015 年 9: 2016 年以降	H_F5	H_F5	H_F5	H_F5	H_F6	H_F7	－
所有関係	住宅建物	所有関係	カテゴリー (名義)	1: 持ち家・分譲（住宅、 マンション） 2: 民営の賃貸住宅 3: 公営、公社または都市 再生機構の賃貸住宅 4: 給与住宅（社宅、公務 員住宅など）	H_F6	H_F6	H_F6	H_F6	H_F7	H_F8	－
延床面積	住宅建物	住宅規模	数値 (float 型)	単位：[m ²]	NH_F7_1	NH_F7_1	NH_F7_1	NH_F7_1	NH_F8_1	NH_F9_1	－
居室数	住宅建物	住宅規模	数値 (int 型)	単位：[室]	NH_F8	NH_F8	NH_F8	NH_F8	NH_F9	NH_F10	－
二重サッシまたは 複層ガラスの有無	住宅建物	窓仕様	カテゴリー (順序)	1: すべての窓にある 2: 一部の窓にある 3: ない	H_F9	H_F9	H_F9	H_F9	H_F10	H_F11	－

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その4

(d)「暖房」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
暖房機器の使用有無	暖房	使用有無 (全般)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「主暖房機器」から作成。
セントラル暖房の使用有無	暖房	使用有無 (セントラル暖房)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	QW2	QW2	QW2	QW2	QW2	QW2	-
セントラル暖房のエネルギー源	暖房	使用有無 (セントラル暖房)	カテゴリー (名義)	1: 電気 2: ガス 3: 灯油 4: ダクト式 5: 使用なし	QW2_2	QW2_2	QW2_2	QW2_2	QW2_2	QW2_2	-
使用している床暖房の種類	暖房	使用有無 (床暖房)	カテゴリー (名義)	1: 電気床暖房 2: ガス温水床暖房 3: 灯油温水床暖房 4: 床暖房を使用していない	QW3	QW3	QW3	QW3	QW3	QW3	複数回答可の設問。
床暖房の使用有無	暖房	使用有無 (床暖房)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している床暖房の種類」から作成。
電気床暖房の使用有無	暖房	使用有無 (床暖房)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している床暖房の種類」から作成。
ガス温水床暖房の使用有無	暖房	使用有無 (床暖房)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している床暖房の種類」から作成。
灯油温水床暖房の使用有無	暖房	使用有無 (床暖房)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している床暖房の種類」から作成。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その4

(d)「暖房」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
エアコンの使用台数	暖房	使用台数 (その他)	数値 (int 型)	単位：[台]	NQW4_A_1	NQW4_A_1	NQW4_A_1	NQW4_A_1	NQW4_A_1	NQW4_A_1	－
電気ストーブ類の使用台数	暖房	使用台数 (その他)	数値 (int 型)	単位：[台]	NQW4_A_2	NQW4_A_2	NQW4_A_2	NQW4_A_2	NQW4_A_2	NQW4_A_2	－
電気カーペット・こたつの使用台数	暖房	使用台数 (その他)	数値 (int 型)	単位：[台]	NQW4_A_3	NQW4_A_3	NQW4_A_3	NQW4_A_3	NQW4_A_3	NQW4_A_3	－
電気蓄熱暖房器の使用台数	暖房	使用台数 (その他)	数値 (int 型)	単位：[台]	NQW4_A_4	NQW4_A_4	NQW4_A_4	NQW4_A_4	NQW4_A_4	NQW4_A_4	－
ガスストーブ類の使用台数	暖房	使用台数 (その他)	数値 (int 型)	単位：[台]	NQW4_A_5	NQW4_A_5	NQW4_A_5	NQW4_A_5	NQW4_A_5	NQW4_A_5	－
灯油ストーブ類の使用台数	暖房	使用台数 (その他)	数値 (int 型)	単位：[台]	NQW4_A_6	NQW4_A_6	NQW4_A_6	NQW4_A_6	NQW4_A_6	NQW4_A_6	－
木質系燃料ストーブ類の使用台数	暖房	使用台数 (その他)	数値 (int 型)	単位：[台]	NQW4_A_7	NQW4_A_7	NQW4_A_7	NQW4_A_7	NQW4_A_7	NQW4_A_7	－
太陽熱利用暖房システムの使用有無	暖房	使用有無 (太陽熱)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	QW5	QW5	QW5	QW5	QW5	QW5	－
暖房の仕方	暖房	使い方	カテゴリー (順序)	1: 24 時間暖房する 2: 在室時は暖房する 3: 寒いと感じた時のみ暖房する 4: ほとんど暖房しない・まったく暖房しない	QW1	QW1	QW1	QW1	QW1	QW1	－

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その4

(d)「暖房」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
主暖房機器	暖房	使い方	カテゴリー (名義)	1: エアコン(電気) 2: 電気ストーブ類 3: 電気カーペット・ こたつ 4: 電気蓄熱暖房器 5: ガスストーブ類 6: 灯油ストーブ類 7: 木質系燃料を使用す るストーブ類 8: 電気床暖房 9: ガス温水床暖房 10: 灯油温水床暖房 11: セントラル 暖房システム 12: 太陽熱利用 暖房システム 13: その他 14: 暖房機器はない	QW6	QW6	QW6	QW6	QW6	QW6	—
主暖房機器の 設定温度	暖房	使い方	数値 (float 型)	単位 : [°C]	NQW6_2N1	NQW6_2N1	NQW6_2N1	NQW6_2N1	NQW6_2N1	NQW6_2N1	—
主暖房機器の 強弱設定	暖房	使い方	カテゴリー (順序)	1: 強 2: 中強 3: 中 4: 弱中 5: 弱	QW6_2_A	QW6_2_A	QW6_2_A	QW6_2_A	QW6_2_A	QW6_2_A	—

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その4

(d)「暖房」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
暖房の 平日使用時間	暖房	使い方	カテゴリー (順序)	1: 0時間 2: 2時間未満 3: 2時間～ 4時間未満 4: 4時間～ 8時間未満 5: 8時間～12時間未満 6: 12時間～16時間未満 7: 16時間～24時間未満 8: 24時間	QW6_3	QW6_3	QW6_3	QW6_3	QW6_3	QW6_3	—
暖房居室数	暖房	使い方	数値 (int 型)	単位: [室]	NQW7	NQW7	NQW7	NQW7	NQW7	NQW7	—
ペットのための 暖房使用	暖房	使い方	カテゴリー (順序)	1: ペットのために使用する 2: ペットのためには使用しない 3: ペットはいない	QW8	QW8	QW8	QW8	QW8	QW8	—

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その5

(e)「冷房」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
冷房機器の使用有無	冷房	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「冷房機器の使用台数」から作成。
冷房機器の使用台数	冷房	使用台数	数値 (int 型)	単位: [台]	NQS7	NQS7	NQS7	NQS7	NQS7	NQS7	-
1 台目エアコンの種類	冷房	種類	カテゴリー (名義)	1: 冷房と暖房ができるエアコン 2: 冷房のみできるエアコン	QS8_1	QS8_1	QS8_1	QS8_1	QS8_1	QS8_1	-
1 台目エアコンの製造時期	冷房	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS8_A_1	QS8_A_1	QS8_A_1	QS8_A_1	QS8_A_1	QS8_A_1	-
2 台目エアコンの種類	冷房	種類	カテゴリー (名義)	1: 冷房と暖房ができるエアコン 2: 冷房のみできるエアコン	QS8_2	QS8_2	QS8_2	QS8_2	QS8_2	QS8_2	-
2 台目エアコンの製造時期	冷房	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS8_A_2	QS8_A_2	QS8_A_2	QS8_A_2	QS8_A_2	QS8_A_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その5

(e)「冷房」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
3 台目エアコンの種類	冷房	種類	カテゴリー (名義)	1: 冷房と暖房ができるエアコン 2: 冷房のみできるエアコン	QS8_3	QS8_3	QS8_3	QS8_3	QS8_3	QS8_3	－
3 台目エアコンの製造時期	冷房	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS8_A_3	QS8_A_3	QS8_A_3	QS8_A_3	QS8_A_3	QS8_A_3	－
4 台目エアコンの種類	冷房	種類	カテゴリー (名義)	1: 冷房と暖房ができるエアコン 2: 冷房のみできるエアコン	QS8_4	QS8_4	QS8_4	QS8_4	QS8_4	QS8_4	－
4 台目エアコンの製造時期	冷房	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS8_A_4	QS8_A_4	QS8_A_4	QS8_A_4	QS8_A_4	QS8_A_4	－
5 台目エアコンの種類	冷房	種類	カテゴリー (名義)	1: 冷房と暖房ができるエアコン 2: 冷房のみできるエアコン	QS8_5	QS8_5	QS8_5	QS8_5	QS8_5	QS8_5	－
5 台目エアコンの製造時期	冷房	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS8_A_5	QS8_A_5	QS8_A_5	QS8_A_5	QS8_A_5	QS8_A_5	－

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その5

(e)「冷房」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
冷房の 平日使用時間	冷房	使い方	カテゴリー (順序)	1: 0時間 2: 2時間未満 3: 2時間～ 4時間未満 4: 4時間～ 8時間未満 5: 8時間～12時間未満 6: 12時間～16時間未満 7: 16時間～24時間未満 8: 24時間	QS8_B_1	QS8_B_1	QS8_B_1	QS8_B_1	QS8_B_1	QS8_B_1	－
冷房の設定温度	冷房	使い方	数値 (float 型)	単位 : [°C]	NQS8_C_1	NQS8_C_1	NQS8_C_1	NQS8_C_1	NQS8_C_1	NQS8_C_1	－
ペットのための 冷房使用	冷房	使い方	カテゴリー (順序)	1: ペットのために使用する 2: ペットのためには使用しない 3: ペットはいない	QS9	QS9	QS9	QS9	QS9	QS9	－

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その6

(f)「照明」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
場所ごとに使用している照明の種類	照明	使用有無（全般）	カテゴリー（名義）	1: 白熱電球 2: 蛍光灯 3: LED 4: その他 5: 該当しない	QS14_*	QS14_*	QS14_*	QS14_*	QS14_*	QS14_*	複数回答可の設問。 * = 1:居間、2:食卓、 3:台所、4:個室、 5:その他の場所
居間のランプの使用有無	照明	使用有無（居間）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
居間の白熱電球の使用有無	照明	使用有無（居間）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
居間の蛍光灯の使用有無	照明	使用有無（居間）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
居間のLEDの使用有無	照明	使用有無（居間）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
居間のその他のランプの使用有無	照明	使用有無（居間）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
食卓のランプの使用有無	照明	使用有無（食卓）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
食卓の白熱電球の使用有無	照明	使用有無（食卓）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
食卓の蛍光灯の使用有無	照明	使用有無（食卓）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
食卓のLEDの使用有無	照明	使用有無（食卓）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
食卓のその他のランプの使用有無	照明	使用有無（食卓）	カテゴリー（二値）	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その6

(f)「照明」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
台所のランプの使用有無	照明	使用有無 (台所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
台所の白熱電球の使用有無	照明	使用有無 (台所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
台所の蛍光灯の使用有無	照明	使用有無 (台所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
台所のLEDの使用有無	照明	使用有無 (台所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
台所のその他のランプの使用有無	照明	使用有無 (台所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
個室のランプの使用有無	照明	使用有無 (個室)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
個室の白熱電球の使用有無	照明	使用有無 (個室)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
個室の蛍光灯の使用有無	照明	使用有無 (個室)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
個室のLEDの使用有無	照明	使用有無 (個室)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
個室のその他のランプの使用有無	照明	使用有無 (個室)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その6

(f)「照明」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
その他の場所のランプの使用有無	照明	使用有無 (その他の場所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
その他の場所の白熱電球の使用有無	照明	使用有無 (その他の場所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
その他の場所の蛍光灯の使用有無	照明	使用有無 (その他の場所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
その他の場所のLEDの使用有無	照明	使用有無 (その他の場所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
その他の場所のその他のランプの使用有無	照明	使用有無 (その他の場所)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「場所ごとに使用している照明の種類」から作成。
主照明の種類	照明	使い方	カテゴリー (名義)	1: 白熱電球 2: 蛍光灯 3: LED 4: その他	QS14_A_1	QS14_A_1	QS14_A_1	QS14_A_1	QS14_A_1	QS14_A_1	-
居間照明の使用時間	照明	使い方	カテゴリー (順序)	1: 2時間未満 2: 2時間～4時間未満 3: 4時間～6時間未満 4: 6時間～8時間未満 5: 8時間～12時間未満 6: 12時間以上	QS15	QS15	QS15	QS15	QS15	QS15	-
調光	照明	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	TQS16_1	TQS16_1	TQS16_1	TQS16_1	TQS16_1	TQS16_1	-
消灯	照明	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	TQS16_2	TQS16_2	TQS16_2	TQS16_2	TQS16_2	TQS16_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その7

(g)「給湯」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
使用している給湯器・給湯システムの種類	給湯	使用有無	カテゴリー (名義)	1: 電気ヒートポンプ式給湯器(エコキュート、ネオキュート) 2: 電気温水器 3: ガス給湯器(エコジョーズを含む)、ガス風呂がま 4: ガス小型瞬間湯沸器(台所専用のもの) 5: 灯油給湯器(エコフィールを含む)、灯油風呂がま 6: 太陽熱を利用した給湯器 7: ガスエンジン発電・給湯器(エコウィル) 8: 家庭用燃料電池(エネファーム) 9: その他 10: 給湯器・給湯システムはない	QS17	QS17	QS17	QS17	QS17	QS17	複数回答可の設問。
給湯機の使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その7

(g)「給湯」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
電気ヒートポンプ式給湯機の使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。
電気温水器の使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。
ガス給湯機・ガス風呂がまの使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。
ガス小型瞬間湯沸器の使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。
灯油給湯機・灯油風呂がまの使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。
太陽熱利用給湯機の使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。
ガスエンジン発電・給湯機の使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。
家庭用燃料電池の使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。
その他給湯機の使用有無	給湯	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「使用している給湯器・給湯システムの種類」から作成。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その7

(g)「給湯」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
浴槽に湯をはる 日数（夏季）	給湯	使い方	数値 (int 型)	単位：[日/週]	TQS18_1	TQS18_1	TQS18_1	TQS18_1	TQS18_1	TQS18_1	－
浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数（夏季）	給湯	使い方	数値 (int 型)	単位：[日/週]	TQS18_2	TQS18_2	TQS18_2	TQS18_2	TQS18_2	TQS18_2	－
浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数（夏季）	給湯	使い方	数値 (int 型)	単位：[日/週]	TQS18_3	TQS18_3	TQS18_3	TQS18_3	TQS18_3	TQS18_3	－
浴槽に湯をはる 日数（冬季）	給湯	使い方	数値 (int 型)	単位：[日/週]	TQW9_1	TQW9_1	TQW9_1	TQW9_1	TQW9_1	TQW9_1	－
浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数（冬季）	給湯	使い方	数値 (int 型)	単位：[日/週]	TQW9_2	TQW9_2	TQW9_2	TQW9_2	TQW9_2	TQW9_2	－
浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数（冬季）	給湯	使い方	数値 (int 型)	単位：[日/週]	TQW9_3	TQW9_3	TQW9_3	TQW9_3	TQW9_3	TQW9_3	－
夏季 湯はり割合	給湯	使い方	数値 (float 型)	単位：[-]	－	－	－	－	－	－	「浴槽に湯をはる日数(夏季)」から作成。
夏季 シャワー割合	給湯	使い方	数値 (float 型)	単位：[-]	－	－	－	－	－	－	「浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数(夏季)」から作成。
夏季 入浴なし割合	給湯	使い方	数値 (float 型)	単位：[-]	－	－	－	－	－	－	「浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数(夏季)」から作成。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その7

(g)「給湯」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
冬季 湯はり割合	給湯	使い方	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	「浴槽に湯をはる日数(冬季)」から作成。
冬季 シャワー割合	給湯	使い方	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	「浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数(冬季)」から作成。
冬季 入浴なし割合	給湯	使い方	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	「浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数(冬季)」から作成。
シャワーをこまめに止める	給湯	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	UQW10_1	UQW10_1	UQW10_1	QW10_1	QW10_1	QW10_1	-
続けて入浴	給湯	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	UQW10_2	UQW10_2	UQW10_2	QW10_2	QW10_2	QW10_2	-
食器洗い時の工夫	給湯	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	UQW10_3	UQW10_3	UQW10_3	QW10_3	QW10_3	QW10_3	-
コントローラーのオフ	給湯	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	UQW10_4	UQW10_4	UQW10_4	QW10_4	QW10_4	QW10_4	-
洗面所のお湯の使用頻度	給湯	使い方	カテゴリー (順序)	1: 全員使う 2: 使う人がいる 3: 使わない	QW11	QW11	QW11	QW11	QW11	QW11	-
台所のお湯の使用頻度	給湯	使い方	カテゴリー (順序)	1: 毎日使う, 2: 週5～6日使う, 3: 週3～4日使う, 4: 週1～2日使う, 5: ほとんど使わない・まったく使わない 6: 不明	QW12	QW12	QW12	QW12	QW12	QW12	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その8

(h)「調理」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
使用している調理コンロの種類	調理	使用有無	カテゴリー (名義)	1: ガスコンロ(カセットコンロを除く) 2: 電気コンロ(IH クッキングヒーターなど) 3: その他 4: コンロはない	QS19	QS19	QS19	QS19	QS19	QS19	複数回答可の設問。
調理コンロの使用有無	調理	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「調理コンロの種類」から作成。
ガスコンロの使用有無	調理	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「調理コンロの種類」から作成。
電気コンロの使用有無	調理	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「調理コンロの種類」から作成。
その他のコンロ使用有無	調理	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「調理コンロの種類」から作成。
1日当たりの調理食数(朝・平日)	調理	使い方	数値 (int 型)	単位: [人分/日]	NQS20_1_1	NQS20_1_1	NQS20_1_1	NQS20_1_1	NQS20_1_1	NQS20_1_1	-
1日当たりの調理食数(朝・休日)	調理	使い方	数値 (int 型)	単位: [人分/日]	NQS20_1_2	NQS20_1_2	NQS20_1_2	NQS20_1_2	NQS20_1_2	NQS20_1_2	-
1日当たりの調理食数(昼・平日)	調理	使い方	数値 (int 型)	単位: [人分/日]	NQS20_2_1	NQS20_2_1	NQS20_2_1	NQS20_2_1	NQS20_2_1	NQS20_2_1	-
1日当たりの調理食数(昼・休日)	調理	使い方	数値 (int 型)	単位: [人分/日]	NQS20_2_2	NQS20_2_2	NQS20_2_2	NQS20_2_2	NQS20_2_2	NQS20_2_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その8

(h)「調理」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
1日当たりの調理食数（夜・平日）	調理	使い方	数値 (int 型)	単位：[人分/日]	NQS20_3_1	NQS20_3_1	NQS20_3_1	NQS20_3_1	NQS20_3_1	NQS20_3_1	－
1日当たりの調理食数（夜・休日）	調理	使い方	数値 (int 型)	単位：[人分/日]	NQS20_3_2	NQS20_3_2	NQS20_3_2	NQS20_3_2	NQS20_3_2	NQS20_3_2	－
1週間当たりの調理食数	調理	使い方	数値 (int 型)	単位：[食/週]	－	－	－	－	－	－	「1日当たりの調理食数（朝・平日）」「1日当たりの調理食数（朝・休日）」「1日当たりの調理食数（昼・平日）」「1日当たりの調理食数（昼・休日）」「1日当たりの調理食数（夜・平日）」「1日当たりの調理食数（夜・休日）」から作成。
電子レンジで下ごしらえ	調理	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	UQS21_1	UQS21_1	UQS21_1	QS21_1	QS21_1	QS21_1	－
火力調整	調理	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	UQS21_2	UQS21_2	UQS21_2	QS21_2	QS21_2	QS21_2	「省エネ行動の実施割合」の算出に使用。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その9

(i)「テレビ」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
テレビの使用有無	テレビ	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「テレビの使用台数」から作成。
テレビの使用台数	テレビ	使用台数	数値 (int 型)	単位 : [台]	NQS1	NQS1	NQS1	NQS1	NQS1	NQS1	-
1 台目テレビの種類	テレビ	種類	カテゴリー (名義)	1: 液晶 2: プラズマ 3: ブラウン管 4: その他	QS2_1	QS2_1	QS2_1	QS2_1	QS2_1	QS2_1	-
1 台目テレビの画面サイズ	テレビ	画面サイズ	数値 (float 型)	単位 : [型]	NQS2_A_1	NQS2_A_1	NQS2_A_1	NQS2_A_1	NQS2_A_1	NQS2_A_1	-
1 台目テレビの製造時期	テレビ	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS2_B_1	QS2_B_1	QS2_B_1	QS2_B_1	QS2_B_1	QS2_B_1	-
2 台目テレビの種類	テレビ	種類	カテゴリー (名義)	1: 液晶 2: プラズマ 3: ブラウン管 4: その他	QS2_2	QS2_2	QS2_2	QS2_2	QS2_2	QS2_2	-
2 台目テレビの画面サイズ	テレビ	画面サイズ	数値 (float 型)	単位 : [型]	NQS2_A_2	NQS2_A_2	NQS2_A_2	NQS2_A_2	NQS2_A_2	NQS2_A_2	-
2 台目テレビの製造時期	テレビ	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS2_B_2	QS2_B_2	QS2_B_2	QS2_B_2	QS2_B_2	QS2_B_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その9

(i)「テレビ」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
3 台目テレビの種類	テレビ	種類	カテゴリー (名義)	1: 液晶 2: プラズマ 3: ブラウン管 4: その他	QS2_3	QS2_3	QS2_3	QS2_3	QS2_3	QS2_3	-
3 台目テレビの画面サイズ	テレビ	画面サイズ	数値 (float 型)	単位: [型]	NQS2_A_3	NQS2_A_3	NQS2_A_3	NQS2_A_3	NQS2_A_3	NQS2_A_3	-
3 台目テレビの製造時期	テレビ	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS2_B_3	QS2_B_3	QS2_B_3	QS2_B_3	QS2_B_3	QS2_B_3	-
テレビの 平日使用時間	テレビ	使い方	カテゴリー (順序)	1: 1 時間未満 2: 1 時間～2 時間未満 3: 2 時間～4 時間未満 4: 4 時間～8 時間未満 5: 8 時間～12 時間未満 6: 12 時間～16 時間未満 7: 16 時間以上	QS2_C_1	QS2_C_1	QS2_C_1	QS2_C_1	QS2_C_1	QS2_C_1	-
明るさ調整	テレビ	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	TQS3_1	TQS3_1	TQS3_1	TQS3_1	TQS3_1	TQS3_1	-
主電源オフ	テレビ	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	TQS3_2	TQS3_2	TQS3_2	TQS3_2	TQS3_2	TQS3_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その 10

(j)「冷蔵庫」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
冷蔵庫の使用有無	冷蔵庫 (全般)	使用有無 (全般)	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「冷蔵庫の使用台数」から作成。
冷蔵庫の使用台数	冷蔵庫 (全般)	使用台数 (全般)	数値 (int 型)	単位 : [台]	NQS4	NQS4	NQS4	NQS4	NQS4	NQS4	-
1 台目冷蔵庫の種類	冷蔵庫	種類	カテゴリー (名義)	1: 冷凍冷蔵庫 2: 冷蔵庫 3: 冷凍庫	QS5_1	QS5_1	QS5_1	QS5_1	QS5_1	QS5_1	-
1 台目冷蔵庫の庫内容積	冷蔵庫	庫内容積	数値 (float 型)	単位 : [L]	NQS5_A_1	NQS5_A_1	NQS5_A_1	NQS5_A_1	NQS5_A_1	NQS5_A_1	-
1 台目冷蔵庫の製造時期	冷蔵庫	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS5_B_1	QS5_B_1	QS5_B_1	QS5_B_1	QS5_B_1	QS5_B_1	-
2 台目冷蔵庫の種類	冷蔵庫	種類	カテゴリー (名義)	1: 冷凍冷蔵庫 2: 冷蔵庫 3: 冷凍庫	QS5_2	QS5_2	QS5_2	QS5_2	QS5_2	QS5_2	-
2 台目冷蔵庫の庫内容積	冷蔵庫	庫内容積	数値 (float 型)	単位 : [L]	NQS5_A_2	NQS5_A_2	NQS5_A_2	NQS5_A_2	NQS5_A_2	NQS5_A_2	-
2 台目冷蔵庫の製造時期	冷蔵庫	製造時期	カテゴリー (順序)	1: 2000 年以前 2: 2001 年～2005 年 3: 2006 年～2010 年 4: 2011 年～2015 年 5: 2016 年～2020 年 6: 2021 年以降	QS5_B_2	QS5_B_2	QS5_B_2	QS5_B_2	QS5_B_2	QS5_B_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その 10

(j)「冷蔵庫」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
温度調整	冷蔵庫	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	TQS6_1	TQS6_1	TQS6_1	TQS6_1	TQS6_1	TQS6_1	-
つめこみ過ぎ	冷蔵庫	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	TQS6_2	TQS6_2	TQS6_2	TQS6_2	TQS6_2	TQS6_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その 11

(k)「家電機器等」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
家電製品等の使用台数	家電機器等	使用台数	数値 (int 型)	単位 : [台]	NQS10_A	NQS10_A	NQS10_A	NQS11_A	NQS11_A	NQS11_A	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その 12

(I)「洗濯乾燥」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
乾燥機能の有無	洗濯乾燥	使用有無	カテゴリー (二値)	0: なし 1: あり	-	-	-	-	-	-	「家電製品等の使用台数」 から作成。
洗濯機（乾燥機能なし）の使用台数	洗濯乾燥	使用台数	数値 (int 型)	単位：[台]	-	-	-	-	-	-	「家電製品等の使用台数」 から作成。
洗濯機（乾燥機能付）の使用台数	洗濯乾燥	使用台数	数値 (int 型)	単位：[台]	-	-	-	-	-	-	「家電製品等の使用台数」 から作成。
衣類乾燥機（電気）の使用台数	洗濯乾燥	使用台数	数値 (int 型)	単位：[台]	-	-	-	-	-	-	「家電製品等の使用台数」 から作成。
衣類乾燥機（ガス）の使用台数	洗濯乾燥	使用台数	数値 (int 型)	単位：[台]	-	-	-	-	-	-	「家電製品等の使用台数」 から作成。
浴室乾燥機の使用台数	洗濯乾燥	使用台数	数値 (int 型)	単位：[台]	-	-	-	-	-	-	「家電製品等の使用台数」 から作成。
乾燥機能 使用頻度	洗濯乾燥	使い方	カテゴリー (順序)	1: 週 5 回以上 2: 週 3～4 回 3: 週 1～2 回 4: 週 1 回未満	QS10_B_2	QS10_B_2	QS10_B_2	QS11_B_2	QS11_B_2	QS11_B_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その 13

(m)「トイレ便座」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
温水洗浄便座の使用台数	トイレ便座	使用台数	数値 (int 型)	単位：[台]	-	-	-	-	-	-	「家電製品等使用台数」から作成。
暖房便座（温水洗浄機能なし）の使用台数	トイレ便座	使用台数	数値 (int 型)	単位：[台]	-	-	-	-	-	-	「家電製品等使用台数」から作成。
温水の設定温度の調整	トイレ便座	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	UQS12_1	UQS12_1	UQS12_1	QS13_1	QS13_1	QS13_1	-
冬季以外暖房便座機能オフ	トイレ便座	使い方	カテゴリー (順序)	1: 実施している 2: 実施していない 3: 該当しない	UQS12_2	UQS12_2	UQS12_2	QS13_2	QS13_2	QS13_2	-

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その 16

(p)「省エネ意識」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
省エネ行動の実施割合	省エネ意識	使い方	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	「照明_調光」「照明_消灯」「給湯_シャワーをこまめに止める」「給湯_続けて入浴」「給湯_食器洗い時の工夫」「給湯_コントローラーのオフ」「調理_電子レンジで下ごしらえ」「調理_火力調整」「テレビ_明るさ調整」「テレビ_主電源オフ」「冷蔵庫_温度調整」「冷蔵庫_つめこみ過ぎ」「トイレ便座_温水の設定温度の調整」「トイレ便座_冬季以外暖房便座機能オフ」から算出。

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その 17

(q)「エネルギー」に関連する特徴量

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
1 か月当たりの電気の購入量	エネルギー	二次エネ	数値 (float 型)	単位：[kWh/月]	NEL_KWH	NEL_KWH	NEL_KWH	NEL_KWH	NEL_KWH	NEL_KWH	－
1 か月当たりの太陽光発電量	エネルギー	二次エネ	数値 (float 型)	単位：[kWh/月]	NPVG_KWH	NPVG_KWH	NPVG_KWH	NPVG_KWH	NPVG_KWH	NPVG_KWH	－
1 か月当たりの太陽光発電量のうちの売電分	エネルギー	二次エネ	数値 (float 型)	単位：[kWh/月]	NPVS_KWH	NPVS_KWH	NPVS_KWH	NPVS_KWH	NPVS_KWH	NPVS_KWH	－
1 か月当たりの都市ガスの購入量	エネルギー	二次エネ	数値 (float 型)	単位：[m3/月]	NUG_M3	NUG_M3	NUG_M3	NUG_M3	NUG_M3	NUG_M3	－
1 か月当たりのLP ガスの購入量	エネルギー	二次エネ	数値 (float 型)	単位：[m3/月]	NLPG_M3	NLPG_M3	NLPG_M3	NLPG_M3	NLPG_M3	NLPG_M3	－
1 か月当たりの灯油消の購入量	エネルギー	二次エネ	数値 (float 型)	単位：[L/月]	NKER_L	NKER_L	NKER_L	NKER_L	NKER_L	NKER_L	－

表 B.11 特徴量のデータ内容および調査票情報との対応 その 17

(q)「エネルギー」に関連する特徴量 (続き)

特徴量	要因の分類		データ種類	カテゴリー／単位	調査票情報ヘッダー						備考
	大分類	小分類			H29	H30	H31	R2	R3	R4	
年間一次エネルギー消費量	エネルギー	一次エネ	数値 (float 型)	単位：[MJ/年]	-	-	-	-	-	-	「1 か月当たりの電気の購入量」「1 か月当たりの太陽光発電量」「1 か月当たりの太陽光発電量のうちの売電分」「1 か月当たりの都市ガスの購入量」「1 か月当たりの LP ガスの購入量」「1 か月当たりの灯油消費の購入量」から付録 C に示す方法により算出。
暖房比率	エネルギー	一次エネ	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	付録 D に示す方法により求める用途別一次エネルギー消費量から算出。
冷房比率	エネルギー	一次エネ	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	同上
給湯比率	エネルギー	一次エネ	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	同上
調理比率	エネルギー	一次エネ	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	同上
照明他比率	エネルギー	一次エネ	数値 (float 型)	単位：[-]	-	-	-	-	-	-	同上